

海外安全対策情報（第3四半期）

1 社会・治安情勢

- (1) 総じて平穏、安全と言えるが、当国政府の緊縮財政政策等に反発する各種労働組合等のデモやストライキ等は限られた地域において依然として行われており、その動向には一定の注意が必要。特にアテネ中心部（シンタグマ広場やアテネ大学本部前等）では定期的にデモや抗議集会が行われており要注意。
- (2) アテネ市内のエクサルヒア地区では、過激派等が政治関連施設や警戒中の警察に対し、簡易爆弾や火炎瓶等を使用した攻撃を繰り返しており、特に注意が必要。
- (3) 特定のアナキストグループが活動を活発化させており、政府関連施設、企業、外交団関連施設等に対する攻撃を敢行しているため、今後、日本国内情勢によっては日本が標的となる可能性も排除できないことから、注意が必要。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 観光地であるアクロポリス周辺及びメトロ内では、昼夜を問わず観光客を狙った各種窃盗事件が発生しており、特にすりが多発しているため注意が必要。店舗や住居を狙った持凶器強盗事件も発生している。
- (2) フィロパポスの丘周辺において、強盗事件が多発し、強盗に刃物で脅迫された若者が崖から転落して死亡する事件も発生していることから、同所周辺における深夜の徘徊は避ける必要がある。
- (3) グリファダ近辺において、ひったくりの邦人被害、目撃情報があるほか、侵入強盗事件などが発生しており、同所周辺における犯罪被害にも注意が必要。
- (4) 国家警察が発表した2018年上半期の犯罪発生件数（未遂犯を含む）は以下のとおり。

殺人	111件（対前年同期比	－9件）
強盗	2,310件（同	－214件）
強姦	90件（同	－7件）
侵入窃盗等	39,506件（同	－172件）
自動車盗	12,167件（同	－2,039件）

(5) 邦人被害事案（一部手口を抜粋）

ア 被害者2名が、アテネ市中心部のレストラン内で食事中、目の前の席に座っていた他の男性客がテーブルをガタガタと音を立てながら動かし始め、被害者両名がその動きに気をとられていた隙に足元に置いてあったキャリーバックが窃取さ

れた。

イ 被害者が、車両を駐車して約5分間離れたところ、車両運転席ドアロックの鍵を壊されて開錠され、車内に置いていたカバン内から旅券、現金等を窃取された。

ウ 被害者が、リュックサックを手にとって人混みの中を移動中、背後から近づいた男にリュックサックをひったくられた。

エ 被害者が、フィロパポスの丘を散策中、7名の男に取り囲まれ、殴られた上、旅券、クレジットカード、携帯電話機、ノートパソコン等在中のカバンを強取された。

オ アテネ市内の駅構内において、被害者の服やカバンにマスタードをかけられ、被害者がそれを拭いている間にカバンを窃取された。

カ 被害者が、交差点で信号待ちをしていたところ、男から「バックパックが汚れているから一緒に拭いてあげる」と話しかけられ、全ての荷物を路上に置いたときに、貴重品在中のカバンを窃取された。

キ 被害者が、地下鉄駅のホームでベンチに座って電車を待っていたところ、隣に座っていた若い男が小銭、ライターを落としたため、これを拾ってあげようとした被害者がカバンから手を離れた隙に貴重品在中のカバンを窃取された。

ク 被害者が、車両を運転中に路上に一時停車したところ、二人乗りの小型バイクが追い抜きざまに、全開になっていた助手席窓から手を差し入れ、助手席上に置いていたカバンを窃取して逃走した。

ケ 被害者が、自宅前の路上に車両を駐車し、車内に携帯電話機1台を置き忘れていたところ、運転席後部窓ガラスを破壊され、車内の携帯電話機1台を窃取された。

※ 前記犯罪被害の場所については、アテネ市内中心部及び駅構内、アテネ市地下鉄内、テサロニキ市内、メテオラ、サントリーニ島などの観光地、クルーズ船内等が挙げられる。

3 テロ・爆弾事件発生状

8月22日午前2時ころ、ピレウス氏に所在するビル前で爆弾が爆発し、建物及び付近に駐車されていた車両に大きな損害を与えたが、同爆発による負傷者はなし。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人等に対する金銭目的による誘拐事件及び脅迫事件は把握していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

特に問題なし。